ご意見・お問い合わせ
NHKとBSを個人情報保護について
放送番組と著作権
NHKインターネットサービス利用規約
番組表
NHK
Copyright NHK Japan Broadcasting Corporation All rights reserved.
本サイトに掲載の記事・写真・イラストなどの著作権を保護しています。

連載&音楽 2022.05.13

《大河ドラマ第63作》制作決定！主演・吉高由里子　作・大石 静

大河ドラマ　光る君へ

主人公は紫式部　時代は平安
千年の時を超えるベストセラー『源氏物語』を書きあげた女性
「光源氏」の恋愛ストーリーの原動力は
秘めた情熱と想像力 そしてひとりの男性への思い
その名は藤原道長
変わりゆく世を自らの才覚と努力で生き抜いた女性の
愛の物語

現動せよ！ 平安の女も男たち！
創造と想像の翼をはためかせた女性　紫式部

2024年の大河ドラマは平安中期に、のちに世界最古の女性文学といわれる『源氏物語』を生み出した、紫式部の人生を題材とするベストセラー『源氏物語』執筆に、華やかでないとりどりの平安女の恋。さらびかな平安貴族の世界と、豊命に生きて書いて愛した女性の一生に挑戦する大河ドラマです。

平安時代といえば、十二単姿の女性が長い髪をひいて優雅ではない話を思い浮かべませんか？　その優雅とはともかく、実は平安はアグレッシブな時代。男は仕事条件中心、はては野心まで高で動く中、女も自分の財産を持ち、家庫のみならず、おでかけもすれば、恋仕えなどでキャリアを積く、男とともにいきいきとしたたたずまいは、現代に通じるものさえあります。

そんな平安時代でも、他の多くの時代と同じく、女性に学問は不要とまでいわれていました。主人公の紫式部は、その中で自らの知性と感性、そして恋力によって、仕天で補親な恋愛長編『源氏物語』を書き上げた女性です。そんな紫式部の『源氏物語』執筆に、なくてはならないひとりの男性、藤原道長。ドラマでは紫式部が生涯心を寄せ、陰に陽に影響しあいながら人生をたどる、いわばパートナーとして登場します。

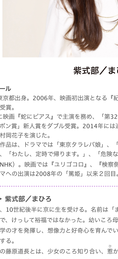
紫式部は、藤原道長は、そして周りの人々が何を思い、豊命に生きていたのか、彼女／彼らの心に思いを馳せいきながら楽しく見られる、華やかな総巻を紡いでいきます。

タイトル「光る君へ」とは

源氏物語の主人公「光源氏」は、原文では「光る君」と書かれています。光り輝くような容姿の美しさ、頭脳明晰であることはもちろん愛嬌にもあふれ、和歌にも豊能に長けた、非の打ちどころのない男性。それが光る君です。紫式部が誕生モデルとして光源氏像を打ち立てたからこそ、誰説あります が、その有力な候補が藤原道長です。

タイトルの「光る君へ」は、我が手で生み出した、かけがえのない『源氏物語』、そしてこのドラマを通じて、ときに惹かれ、ときに離れ、陰に陽に強く影響し合うソウルメイト『藤原道長』への、紫式部の深くうきまることのない想いを表します。

主演
吉高由里子
（よしたか・ゆりこ）



紫式部／まひろ 役

プロフィール
1988年東京都出身。2006年、映画初出演となる「紀子の食卓」で「第28回ヨコハマ映画祭」最優秀新人賞受賞。
2008年に映画『蛇にピアス』で主演を務め、「第32回 日本アカデミー賞 新人俳優賞」「第51回ブルーリボン賞 新人賞をダブル受賞。2014年には連続テレビ小説『花子とアン』（NHK）でヒロインの村岡花子を演じた。
主な出演作品は、ドラマでは「東京タラレバ娘」、「正義のセ」、「知らなくていいコト」、（日本テレビ）、「わたし、定時で帰ります。」、「危険なビーナス」、「最愛」（TBS）、「風よあらしよ」（NHK）、映画では「ユリゴコロ」、「検察官の罪人」、「きみの瞳が問いかけている」。大河ドラマへの出演は2008年の「風林」以来2回目。

＜役紹介＞ 紫式部／まひろ
平安時代、10世紀後半に京に生を受ける。名前は「まひろ」。藤原家の生まれではあが、父は受領階級で、けっして裕福ではなかった。幼いころ母を失うが、学問をつかさどる父のもとで、並外れた文学の才を発揮し、想像力と好奇心を育んでいく。まひろは、考え深く鋭い感性を持つ女性へと成長する。
散歩中上の藤原道長とは、少女のころ知り合い、豊かれ合うも、身分差に阻まれる。やがてはるか年上の男性と結婚して娘を授かるも、死別。一人娘を育てながら、のちに『源氏物語』として知られる長編小説を書き始める。
道長との縁が絶えることは、終生なかった。彼への愛憎は、まひろの人生をいびみ、そして花開かせる。『源氏物語』の評判が高まり、まひろは、道長のまわり、その長女の中宮・彰子に仕える宮中の女官となる。現代でいえば家庫やキャリアウーマン。一方で、まひろが書きつづる『源氏物語』は、道長のバックアップを受け、天皇や貴族の間でスペーストセラーとなる。

作者・大石 静（おおいし しずか）

プロフィール
東京生まれ。1986年にテレビドラマの脚本家としてデビューしてはま、オリジナル作品を中心に多数のテレビドラマの脚本を執筆。97年に連続テレビ小説『ふたりっ子』（NHK）では第15回向田邦子賞と第5回橋田賞、2011年に『セカンドバージン』（NHK）では第民ドラマアワード脚本賞、21年にNHK放送文化賞を受賞、さらに同年に旭日小綬章を授賞。
これまでの執筆作に連続テレビ小説『オードリー』、大河ドラマ『功名が辻』（NHK）、「家売るオンナ」、「知らなくていいコト」（日本テレビ）、「長男の嫁」、「大恋愛～僕を忘れる君と」（TBS）、「アフリカの夜」、「愛と青春の宝塚～恋よりも生命よりも～（フジテレビ）、「あのときそんなことは」、「和田家の男たち」（テレビ朝日）など。

●物語

10世紀後半、京で生まれた一人の女の子。父・藤原為時は和歌に秀で、名を知られた文人。貴族の中ではけっして上位ではないが、名家である。父は娘がうらと名付けうち、幼くして母を失ったものの、弟とともに父の庇護を受けて育つ。

まひろの文学の素質は原立ったものがあり、弟への講義を横で聞くだけで、漢字も和歌も覚えてしまうほどだった。学問はまひろとして、心中の豊かな世界観の礎となる。

母の死から数年後、少女のまひろが出会った運命のひと。それがのちの最高権力者となる藤原道長である。そのころの道長は、まだだれの目に留まれて、おっとりとしたかわいらしい少年にすぎなかった。成長するにつれて、まひろと道長は、子どもらしい戯レみから、やがてお互いに惹かれあうようになる。しかし両家の家格の違いと、まひろの母の死によってふる秘密が、二人の関係に影を落とす。

その後、父の受領としての赴任先・越前に同行したまひろ。一方で、道長はライバルを蹴落とし、権力の階段を急速に上り始めていた。まひろは思いを断ち切って、京に戻り藤原宣孝との結婚を決める。宣孝と以父ほど年が離れており、娘を授かったものの、わずか一年で夫が急死。まひろはシングルマザーとなる。

道長は、天皇に娘を入内させ、いずれは天皇の祖父＝外戚となることをもくろんでいた。天皇、道長たち貴族、そして巨や都たちの権威なる人間関係を要領を知ったまひろ。生来の文学好きと絶びついて想像が広がり、子育てのかたわら、一編の物語を書きはじめる。まんじは皇子であるがなかに、忘下となったあるお、その呼びるのとおりをり舞くように美しい男性だ。やがて『源氏物語』の評判は道長の耳に入り、娘に后として教養を授けるを図るとして宮中に上がるよう、強く誘われる。ライバルを抑え、我が娘に文学好きな天皇を惹きつけたい思いが、道長にはあった。

一人娘の舞育のために、宮中に上がることを決意するまひろ。宮仕えのかたわらで、道長のバックアップを得て、仕られるままに源氏物語を書き進む。書き上げ る端から周囲が驚くほどの人気沼りで、女性たちはもちろん、天皇までもが源氏物語に魅せられる。ヒロインの紫の上にならんで、まひろに「紫」の呼び名が冠されるほどだった。

●制作にあたって

制作統括　内田ゆき

2024年の大河ドラマを担当するにあたって、これまでにやっていない題材はなんだろうと、まずは考えました。そして、そろそろ女性の主人公がきてもいいのではと。
そもそも中学からでさたのが、平安時代。主人公は、『源氏物語』の作者の紫式部です。千年の時を超えて現代語訳で二次創作を出され続け、世界中の国以上で翻訳されているこの物語の作者について、わかっていることは多くはありません。しかし彼女について探ろうちに、鍵となるモノがこつ。ひとつは、豊外にも活動的で男性舞踊とも対等に付き合い、政治にさえも大才な役割を果たしていた平安の女性像。もうひとつは藤高権力者となった藤原道長と紫式部の「出さ」でした。二人は年代的にも物理的にもいくつもの接点を持っていたのです。
平安時代の多くの女性の名前は判然としません。紫式部も然りです。そこで思たちは、心に惹よるものを秘めた個性的な主人公に「ふさわしい名をつけました。のちに歴史上もっとも有名な女性の一人となった彼女は、なぜ、この完全無欠な男性を彩る愛の物語を書いたのか。そこに、彼女の人生に欠かせない片割れ、ソウルメイトとして藤原道長がたえず関わっていたのではないか。そして彼女が見聞きした、愛憎と権力が渦巻く宮中での、天皇や貴族たちの生きざまは、どのような物語に取り入れられていたのか。これまでにない挑戦となるドラマには、想像の余地があるといます。
ドラマの作者として、このような方、女性の人生と恋愛を描く脚本で、トップを走り続ける大石 静さんをお迎え することなどできまして。そして主人公の紫式部、まひろ役には吉高由里子さん。吉高さんならば、書かずにはいられない女・まひろの情熱と、強くしなやかな生きざまを表現してくだ さることと、楽しく、心強く感じております。
2024年の大河ドラマ「光る君へ」、どうぞご期待ください。

2024年 大河ドラマ「光る君へ」

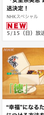
【放送予定】2024年1月～12月
【作】大石 静
【制作統括】内田ゆき
【演出】中島由貴、佐々木善春　ほか

大河ドラマ　光る君へ　静さ　時代プレミアム　BS4K　ドラマ　連載・各種分類

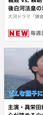
シェアする

その他の注目記事

「K-POP現場所」に密着！若者たちの涙の青春物語
100カメ
NEW 毎週火曜 放送



「安堂奈美 最後の日」、再放送決定！
NHKスペシャル
NEW 5/15（日）放送　＋土曜深夜



義経 vs. 頼朝　兄弟をかき乱す後白河法皇の思惑は…
大河ドラマ「鎌倉殿の13人」
NEW 毎週日曜 放送

上京初日から、暗子に人生最大のピンチが訪れる！
連続テレビ小説 『ちむどんどん』
NEW 毎週月曜～土曜

"幸福"になるためのガ「鍵」を身につけ方を探る？
100分de名著
NEW 毎週月曜 放送

主演・黄安田耀敏 元ヤンとんの心が読めるタ少女が織りなすハ一…
連ドラ『ワンダフル』
NEW 毎週月曜～木曜 放送

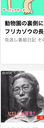
村杉輝之介×コウメ夫人　2人組の強盗が不思議な列車に迷い込…
音楽一台不思議劇『不思議な列車』
NEW 毎週火曜 放送

バカ正直・永瀬ミメインパンク・英語にバトルが炸裂！
ドラマ『正直不動産』
NEW 毎週火曜 放送

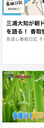
「地上相手」とのつきあいを最難度から学ぶ！
馬人たちの悩む 知恵袋
NEW 毎週火曜 放送

重臣真吉VS島津四兄弟 自熱の攻防戦に迫る！
英雄たちの選択
NEW 毎週水曜 放送

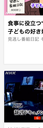
ヘプバーンが天使役で出演！スピルバーグ監督の恋愛ファンタジー
オールウィッチズ『妖精国のカンタン』
NEW 5/17（火）放送



動物園の裏側に潜入！42歳のアフリカゾウの長寿の秘けつとは？
見逃し番組紹介 その182 3



仁清未知の世界！三生涯の一点に迫る！ 書物調査がうたコン…
見逃し番組紹介 その182 2



食事に役立つ“まかり”たえ味！子どもの好き嫌いを選択を提案…
見逃し番組紹介 その182 1

長野市・善光寺の「開帳」、伝説を支える人々の思いとは
Dearにっぽん
毎週土曜 放送

時代を切り開いた女性の生きざまを若手女優が追体験！
ミモリンド番組への道
毎週土曜 放送

スタスプ！多摩川の野鳥がお粘錬で動作り！
アーティンが教えて
毎週日曜 放送

沖縄返還50年 新たに発掘された当事者の証言から交渉の全貌に…
NHKスペシャル『沖縄返還』
5/15（日）放送